

早めの初詣

上原 昇(2組)

私はさいたま市に住んでいますが、先日、新聞やテレビが以下のことを報じていました。

「埼玉県神社庁がコロナ感染防止のため、初詣などの“密”を避ける「分散参拝」を呼び掛けている。大宮氷川神社では11月30日から、早くも来年のお正月用のお札やお守りの授与が始まった。」

武蔵一宮で知られる同神社には例年、初詣に200万人以上の参拝者が訪れます。なお、年末の風物詩でもある12月10日開催の十日市も今年は、熊手商などの露店出店が中止となりました。

自宅から歩いて40分ほどにある同神社には、私も毎年、正月三が日にお参りをしています。

ウイズコロナの新しい生活様式の一環と思い、12月22日に少し早い初詣に出かけました。

日本一長い(約2km)といわれる参道を歩いて、三の鳥居を潜り、楼門付近まで来ると、もうかなりの人が列を作って並んでいます。(写真)

感染対策でディスタンスをとっているのですが、いつもより列は長くなります。

今回は皆さんのお参りの時間もころなしか長いように感じました。

コロナが収束しますようにと祈り、参拝後は、破魔矢とお守りを求めて帰路につきました。

同期の皆さん、各地の初詣はどんな様子でしょうか。

(2020年12月23日記)

